白内障手術が老眼を軽減

多焦点眼内レンズの大きな進化

加齢により発症する白内障は手術でしか治せない。
それに使われる多焦点眼内レンズが、日々進化している。

白内障の治療で目が若返る 多焦点眼内レンズ手術

「視界が全体的にかすむ」「視力が低下する」「光をまぶしく感じる」……加齢で、目にこんな症状が出たら、白内障かもしれない。

「白内障は発症すると、やがて見えなくなってしまいます。手術は、1年間に140万件も行われ、日帰り手術も普及しているポピュラーなものなので安心してください」と高山先生。

白内障の手術は、濁った水晶体にかわって人工の水晶体（眼内レンズ）を移植するもの。この眼内レンズには、「単焦点」と「多焦点」がある。

これまでは遠方か手元かにピントの合う単焦点の移植が主流だった。現在は、遠近両用の多焦点を希望する人が急増。遠方から手元40センチくらいまで鮮明に見えるため目が若返るのだ。

多焦点は、利き目の焦点を遠くに合わせ、反対を少しだけ近くに合わせることで、ほとんどの人が眼鏡いらずの生活を送れる。

これまでの多焦点はコントラスト感度が低く、やや暗く見えがちだった。しかし製品能力が向上し、単焦点と同等の明るさで見えるようになったのも、多焦点の人気に拍車をかけている。

この手術方法として脚光を浴びているのが、フェムトセカンドレーザーという、コンピューターを使った最新技術。高山眼科では一昨年から、フェムトセカンドレーザーを使った眼内レンズ移植手術法を導入し300眼以上の白内障を治療している。

「眼には個人差があるので、より正確で精度の高いフェムトセカンドレーザーが最適です」と、高山先生は話す。体への負担も少なく、安全性も高い。

今年4月から 多焦点レンズ再建手術が先進医療特約の対象外に

先進医療手術は、保険適用外治療となるため、費用が高額となる。それでも、手術を行うメリットについて高山先生に伺うと、「1つは老眼の矯正です。多焦点眼内レンズを移植すると、メガネなしでも遠方から近方40センチくらいまでピントが合うようになるので、結果的に老眼が軽減されるのです」

老眼の矯正は難しいため、この副次効果はありがたい。しかも、これまで、生命保険などの『先進医療特約』に加入している人は、生命保険会社などから先進医療特約保険金が支払われるため、自己負担金が不要になるケースが多かった。

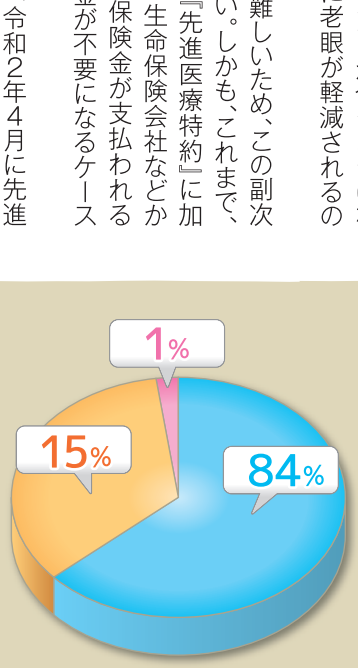
ところが先日、令和2年4月に先進医療から外され、先進医療保険金の支払い対象外となる見通しだと発表された。

実質無料で受けられた先進医療の手術と異なり、4月以降は自己負担が発生することもある。多焦点眼内レンズによる手術を検討していた人は、3月中に決断した方がよさそうだ。

白内障の治療に使われる眼内レンズの見え方の違い

単焦点眼内レンズ
遠くにピントが合い手前はぼやけて見えるため、矯正用のメガネが必要に

多焦点眼内レンズ
遠くから近方40cmくらいまでピントが合うため、日常生活が快適に過ごせる



多焦点眼内レンズ手術
体験者の99%が満足と回答

- 大変満足していて受けてよかった
- まず満足で受けてよかった
- やや不満である

（高山眼科のアンケートによる）

体験者の声

●遠くまでハッキリ良く見えるようになりました。手元の30cmぐらいは少し見えづらいですが、スマホなど近くは見えています。（F.Y 男性 65歳）

●世の中がこんなに"きれいだ"と思ってみなかった程、カラーが美しく見えます。（匿名希望 女性 81歳）

取材協力

医療法人秀緑会 **高山眼科**

0120-133712（ヒトミミナ 1.2）

緑町医院 TEL.027-361-6888 高崎市緑町1-5-3

駅前医院 TEL.027-327-3366 高崎市八島町70ラ・メルセ3F

日曜日もやってます 午前10:00～12:00 午後13:00～16:00

フェムトセカンドレーザーを使用した
多焦点眼内レンズ手術
片眼600,000円
先進医療特約加入の方は手術料自己負担不要。
特約に加入していない方は自己負担になります。
（令和2年3月31日で先進医療ではなくなります）